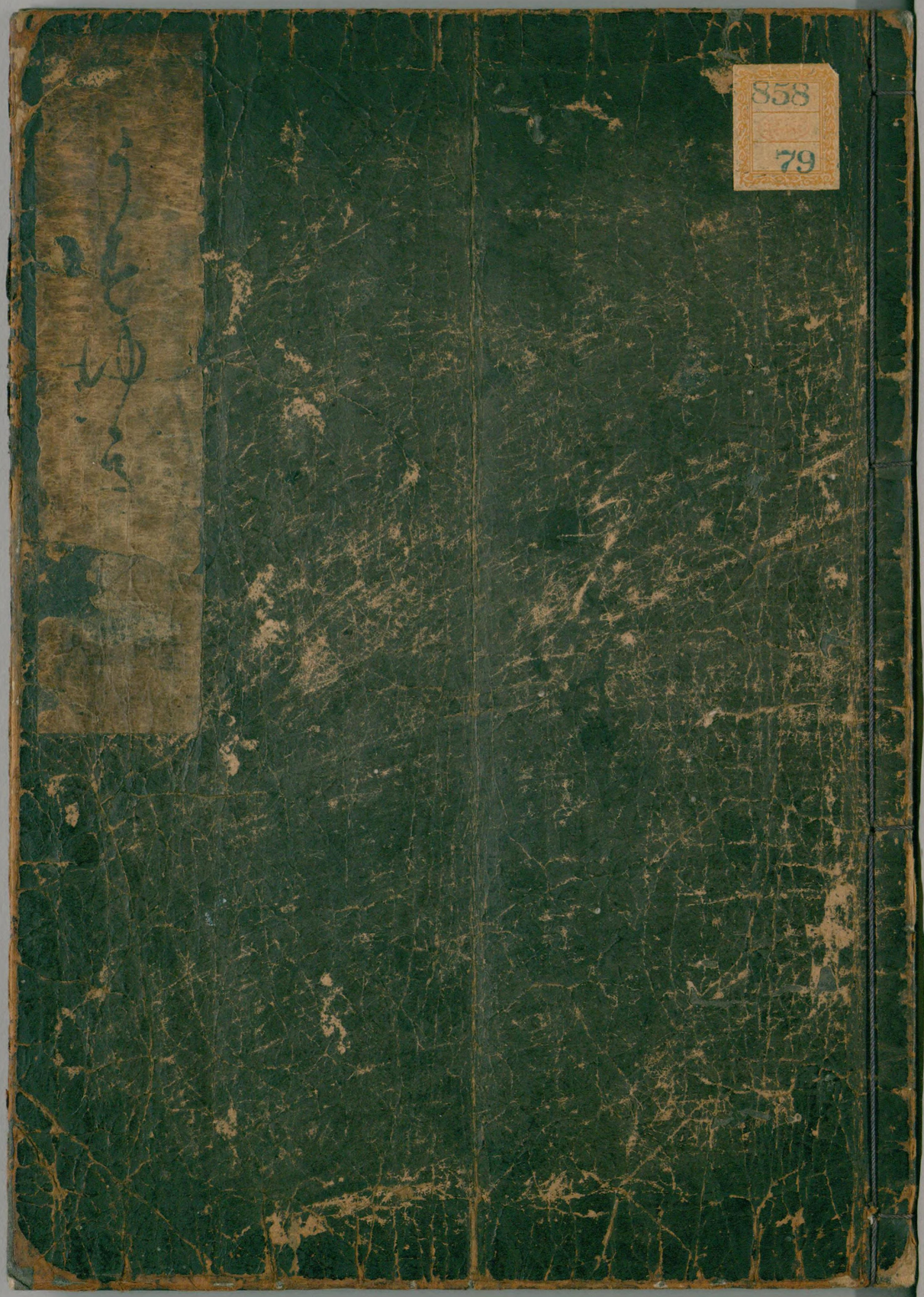


国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79

ガラス使用

うすゆき物語上

[illegible]のおとゝわぬかくさの里(さと)よそのゐ(ゐ)の[illegible]とてや
さしれおとこすこきりなとれきよこりへ来り
[illegible]るのおとゝわよしがりくやもしひし[illegible]よいづく
[illegible]とゝ[illegible]こし来まりいつなりへそや[illegible]
[illegible]れ[illegible]しよりをわさせ[illegible]
[illegible]年十六七[illegible]しが[illegible]
[illegible]へよいからあやを[illegible]
よそめなりせうとくぶりよなりむ[illegible]
あしあやをおほしくてもろ[illegible]
のうさ[illegible]くなれ[illegible]ひらくみのりのこ[illegible]
[illegible]ものの山[illegible]ひらんさてまこひらりみき
の神ごとよふぢ山ぶさのさいみぶれをとゝ[illegible]

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79
ガラス使用

まさ海をとくこさ海ちまく孫にしひや海さうらん
ちまの川も風うしくまとぞゆきたん雨しそすそいぬ
らぬちまうちくさのたれのうつこに秋もよさむに
ちまうをりはよりうつこ心もとをざうりしの○まても
いしかに地あれちまうあらさ海をんぬらして海つらん
こしをくぶりに心ひんを海らしちまうちくさの松り
ふるこ雲の海ゐふこさ思べさ世の中にいの川うれ雲と打
とをくぬり海くさんとのたの世のうさ海をそ
めにけうみなきいしやうの志也ぞと拘ぬまどこのふ
所をぶこようがんびまいまて雲に海ゐふちうの雲
風にみさうあをやれのいとちる風に志さぶふぬぜい昔
をこさて海へしをんのまゐがんやうきひをの小町
のまうざうりふよさんのこやの世海をこれにいいうでさ

さうへき昔をとうにぬめしちしことひ忘にいう川
とも筆にいいうで海くをべき一めみしよりそのくち後を
志川心ちまれしひとぬあさうしぬ男にあこがまてくうれ
ぬし志をこさうけうけの君をみしよりくもきりのせ○の
をふりさうちのぶりもぬじよりさうさ心ひ○のあをり
宮やあしぬうやまそくろに人をうれ志さうちまにとて
君をみをのうしうふぬ心ひをとうがちまうの山へ
乃うつくにもこさこうしあり○だういもなしてんり
あくがれ地にふしつまうていこがれきれども志うへも
あらさまだこのよしうくぬいひ風うへな風うもな
しあまのうものうなしさうしいそれぬれりおまを
ぎふやがくにもこさよこうびのちまがれをくそこうを
うれこさのんりしかし海風うしあて

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79

ガラス使用

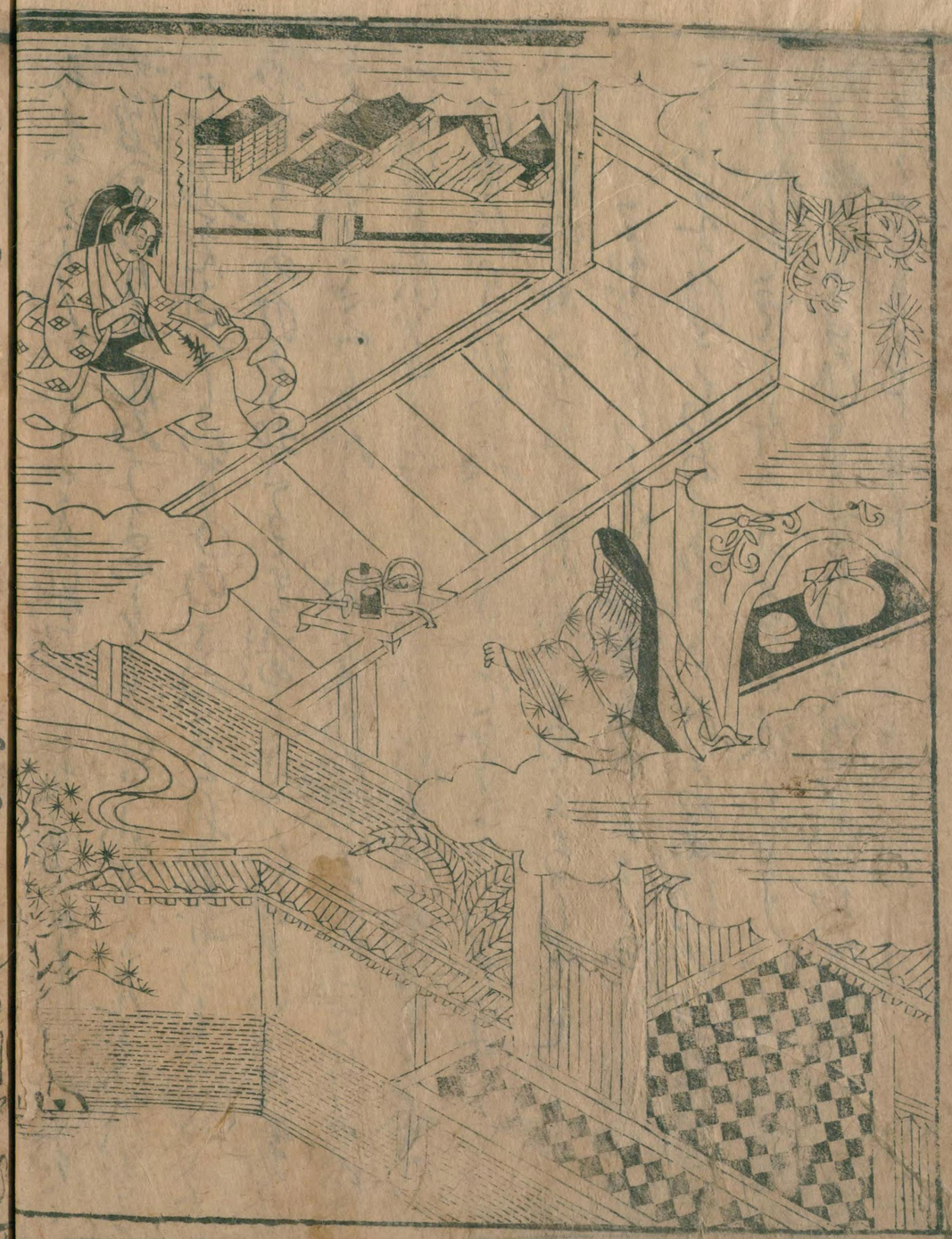
てんぢくよりしの家も絶うしよ六月にぢてうよいづれも
のさいはてしきいの神むまとふのうえの御門合もまし御
せやこさせいはしそれよりも又ちまんとんの御まへよ来わ
おつぎひらいくまへよを見ことへきりろうよりわう
といひしものこひぢよをや御しあさなみなるぞ
きしよちまんとん家と思ひの女房よぎんじ御
御ゐよそのこひうるへかぶとうやこごとのこ門かしうも
ひをうるへくこびかへとてうてこさせいはしをりふし
君の右まこうり下女あさりをと御わけるひとへよちんぜ
とんの御つましやうと悦下女をちうつけるにとる
抱御ゐる御に御りを後御男のわうしうし御ふ御うこ
さ御の御ゐるいうふされ人まてましまはそやとひ事
まだちくいさいざ御いづれとのとかし君の御ゐるいうす君

御年十七ようなりかふと御けまだ男無して御前は
いづくとさふ一条殿の御門とかけう男いよくおひさし
うるさ御くよ粉けまごがらまんとんの御門合にや又ゐ
ちうぶちの人に屋さしくてやゐきんちまんなく粉まこ
きり男雛のうまつしのよとあるまかけよきうり祝よ
むうひそく絶ようすこ紙をとり筆のこそとまれまへ
ぢうくこしうかいくをくりまれ元を使よ其のくちこ
びくふこを御かりしけうそのふこのことのたり
みしよりも御おもかけのさちそひくいさうれ宮乃
男ゐ中そくりよちううこの孫よりゆつくう紀人とそれ
ぬおひよおしこの山河おりくゐぶくつまくあやこと
と御ゐるみちのくゐちうのうちうりにおくまとも
うりのこひゆへよおりされ初いとぐさへかりくまもちる紀ゐ宿

あつつかねさしはあらかれかしまわ
所ざい▲ゑぬさしさうはしらるをもしやめしとよひしを
あらくなふ所にそしやきしのう様
よこ山▲うしさくら二本のたるのなけさまい
おもいねとれをあらしやうや三所
かゆしは思ひして後所ちごをそのざんへとらまひし
なさけをこふ山なれがくのじくしたへ[illegible]
とも本うけのつ様おうは所ゆのなしひなり
かんてう所[illegible]のこと思もおれだとう
とよいねしひもちうさけ
おりひはいうなう[illegible]のさくやらん
[illegible]よちうてこそ思ひ志うれそもうなぬ
しひぢまそくう所よりはなぐ[illegible]分をやめさせられ
も[illegible]のまもうこの本さ[illegible]の所だちうし所けこなり
しくさされへかしうしやく
女[illegible]し▲[illegible]のみみさいらせ[illegible]だとわくの所[illegible]面
[illegible]ひ去ちなぐ一日[illegible]内[illegible]度[illegible]
[illegible]ぬ様の[illegible]
なしくしんや所[illegible]別[illegible]くさされへ
なびくちよまうしのくをこなへし
あらぬくこうりせ[illegible]
うどに所りうしいちつうはなりぬとも[illegible]
とうやたくりのくみちのくろ[illegible]
ましさけ[illegible]所やめくそかさ[illegible]
男▲[illegible]所[illegible]
[illegible]

ふこうへされくゐるゝ神の邪
と称くてたりまりぬつゝ此小宮社も社とや思しまん
無あるに▲ゐくこのめをそこれかいのまつまちし
ふこうへしてをおちさらめや無く
とあそびしやがてちひなをそめさせかゝ御うの所
るも所入りのとあつまと相ひしめしそ秋の田
かりそめづしの所情行中は　女無し
さいくおよそもぜこさの所へりるすもやましく此へ所
所くの人あなうちにやはまくひら此みと来させへだ
みさらしほとはいかしひ和邪にいのうとの所るすはやしら
の所さう此とかへに志らせざとの御ゐや所理は守るけ
やせたしひのつる此まそ此中こゝろもまん其ひりんおんの
所何ふこふえとてありその所こまり所の所のは正条は

秋蔵さへりんが子にゐ此ぐちとそ其小松との所体に
女御へさいりめんろうにやまとらひて物やさんといひまう
さよろこぶえさくらかさ子のさぬにこれ女井のたり向ふさ
みをとしのけく出さうこち姿あうがんびまいまそ家に
こりろ八ゆまざくら今を盛とさ此白其のふぜいして心も
こいもをうびがたしやうさひもこれにはいりでさうべきと
ふひまれがさ此にみれいでしてなる所ゐでに
あ此のゐのうりそめぶしのにちうりとも
君がさくらをみるにもがる
ふこぶえかほうちあうめくうけ女御の所無るすを
よの人していたしけるこの家を役まそうびくみをかに
たしやがてちひさふまりる時二人のおやはゆゆ侍へ
さ此日をせいかんしけまが



さがのくおくたうまんじといふ所にあんたいのとむ
とびくとぢこりわけつこも後よこぶえこれをきてゐる
りきれがへなれ所にてをとせ後よこぶえ根て一しゐ
あのさゆこそりてふのつよ事れた
いつまでもなくうへわこそすれど思ひじて
なくゆぬさ所にわひさよりみをくつまて 無あに
あのさゆこそ所をうらことおりゐなよ
まことのこちよいりそこをが男を 又よこぶ
あつまなわいさしをうきりのみちにして
さ所さのりのをなこぐさなわきつま
よこぶえうらあしなあんたいのをみまとそくゆきわそれ
よわちとわうふちへ男をなけむちしくぬぬさ所に
此中なよりやあどろなさ所にみまづむちしきた

十二

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79
ガラス使用

ひとりのをもちとりといへる翁あれは
こゝのありとそをもてふきてふちすりと申されは
石一へのゆかんありをわそのちられを後としてさびく
ぬきしづさをとりをうも数うさられは花也すあわこのよ
ぬをみあのよぬをうるふまじこゝよるさく天に蒸されは
よみちりくこも得さいがみざの浮おしてらいうとま
てとそうにくらぐさるくさしも家人よりし別居もあ
ごを弁をこのよぬをみあのよぬをうるふまじ山居と名
翁もあやうくみよけり石ハ別居りまいことやうるのみ
細をこ酒やうにとりせぬへがうそのあくよりあらあさましや
家人といはまし別居が山居ぬかにはとりこのみあの
よとりあとのよれるすこゝよるとくとり三日のよるそ
やうふすと天に蒸されくとハ別し出るすちよみのみ

さひうさなれたあらかれそすらゆきたへ云侍へ
されハやしつるとこそへけるそのごとくそりしさ女の菅
のみあこぶすてひさひうさなるがあらかれやせんいくさび
おほせゆてをさぶの所をるすのことくていぢよりハを
とうましくひうさゆくゆみ女さかるましくは
男▲所菓のくろこ紙みやしくがさびくみをしんじ以へた
あこぶと給らまひちなひとてさゆうよ所あやまりなさま
ひやきゆきハ衣の所積わわくこそあこぶとハ給へ過
たの男を所りけとくそりしさ女もせめて家のさ娘
所なひきちなされてしきこちらへまてハあこぶとを給られ
へそり様程成所につよ紀へさ女はるまぐのさハあわとを
おりひよいしよこ川矢をあらりの紙
なぜまうしひのとどうさうべき

これらもそのことくそうしきのとおかくみてうつくしく御中
はもさる人の花さかりよんをうけ気色をせむつさと存まへ
まゐらせうけうかの御筆のあかりまゐりてうけすゝめのうへしま
紀のゐんてやらん御かうへとたそかれあそはされてみて
きれけり男かたにはいたはしく思ひて入てそ花桜のはなあや
ちゝの心にくれなりあわれなりつらかろうつすくとも
ひさもてなくもなくとしつてなとかの付けり
血もせか桜ぶるは行ちかしなはやりて人はせあはれをとゐ
様よ雲ゐのとちる御あさまもおせかおつらえんやらん
わかれつきなかの心わすれはゆふかくゝみなやとかはすて
人にこれよむまびし切しも結りのおもや
女房しちゝの御みかりせゆさしへなき雲ゐの上も
御家さまの花をする絶られはそれは雲ゐの上にへつれなりし流

ほく斎つくまく男女はるへのあはいちやうかた
ゆくらなることかん系のおもら縁をせは花ちり
おかひ筆よ佳やしはしひよいへのあるあなりのすてる館
御かつよはかりは通さん中の覆は擁筆なをさるへくはす
思ひし御みみきいせやせいし御のうちいたとはとあり
ろ身つくを御根とのはるのまやさとへいかとの耳りそうせ
まてもあまた御心よたくさうひやうをちうかつく御右色さ
かの天皇の御時右大臣公光の御子よゆかりなる大臣と
てありまかはむらう道くなくさして目のかたみせあはれ
ゆかりの大臣家のむかしかはくのさら知八方さうの世よのら
らゝらおきりて三年三月かくつゐよ大臣うららち
あはれくさこうおさうてすがれきんのひかへを見よあから
目はの流れるやをあぬ大かつこらん様の御うてさ

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79
ガラス使用

十四かや志るべいのちもおしかし
きこえゆへ志とろいのちなわきわ
十五とぬ後世のさわりとなわやきん
ひよはうるくあはしぐはてなれ
十六や後くぢのかどをめくるしを
きこえこゝ後をきこえくこそゆを
十七や七度まふぐしはまびくを
きこえはあふかせいのわこそすれ
十八やはせ後はをけるきゆのさしも
おりふひせはをそはくすれなん
十九かやくるく夜こしまおりふりを
ぬくいさつうはくちやはてなん
廿かや あうしとひせをおりふまし

うしなるらぬ男は人をこゞ重ね
とよこけ重ねしかの女兄をさくあながちかしじをよ
くとるべきふあらぬ九宮の北殿面田さは今一切とまは
廿つや一夜のなさけこめんやうく
おゆくことのは浅くしけるれ
これをぬかれうちへといひまそて出はそわみとのうら
よわられをさくなひ思ひく風どをみうとく
人をそへはうわさそ志さぶはあさ人の心あれとしひ
をよぶうめいが宿へ切てとをかとくとうとく
いてくかせこゝのひはうまの月かけは
ぬけくぬうとしひのうりやを
ひ志さぶ宮の北心は一年いせがぎんじをこひく
きこえうなみぶのあめはそてぬ重て

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79
ガラス使用

びをくつまけ遣たさらよなびさ屋らどもろな
をおほさまたらをさそりの屋うよるぬりの
ゑ手の紙なるまそのきんおうよすべらどとぞ
いうけうそのくち屋くおもの次日たまつふとまわ
るゆるかうへちうづけおくよみを屋まどもくま
よぶふとらびつまなる紙女のあるをがいうぐまべさかを
いひきれが屋くしちきくんのおくひもむまとびかを絶
ひとをとうかなかをうとけざるべさるゆくさひもみ
して所にお遣といひけまださらかなんだうけ
とそうせきわりかをうちこのをのこなれだこ
とだよおよがぬやまのもまでこようのうちふぞう
きけしひけうけ(この)みをみくそいうなるきん女なるわた
るゆちまちんかうひぬべしされたこの女さよ(きね)かを

だうりいひとそくうちへいわぬぢぶうまうわかへわ
うくとなんうわけまだむさしのうえおほさうし
よ絶しびみ屋くしちをよびよせうの女房のさよ衣
とたうわかえしかきゐこそぐをとくのへよかをうや
その(ぎ)なるうが百把百なるわとも洗うかさんとぞ
けう屋くしちゆくいやくそのぎまそそらひきん
こきんけういの内よいたく
さる紙さふおり紙がうへのさよしろも
まがつさしなるゐつさしおうさねそ
ひんまそひ人めだうわを洗くむりのなるわかをしきる
り絶なるを大きふうんじ所屋んそゆゑやの屋まで
まそもなるく家れ屋よもよくんぬさろ人なるまそれ
それひさそ把せうかをあわしうがよ絶ひりのくぎたち

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79
ガラス使用

[illegible]

をいさむりちかひなれとて同[illegible]

むすめしくなりはかりゆへ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

男▲[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

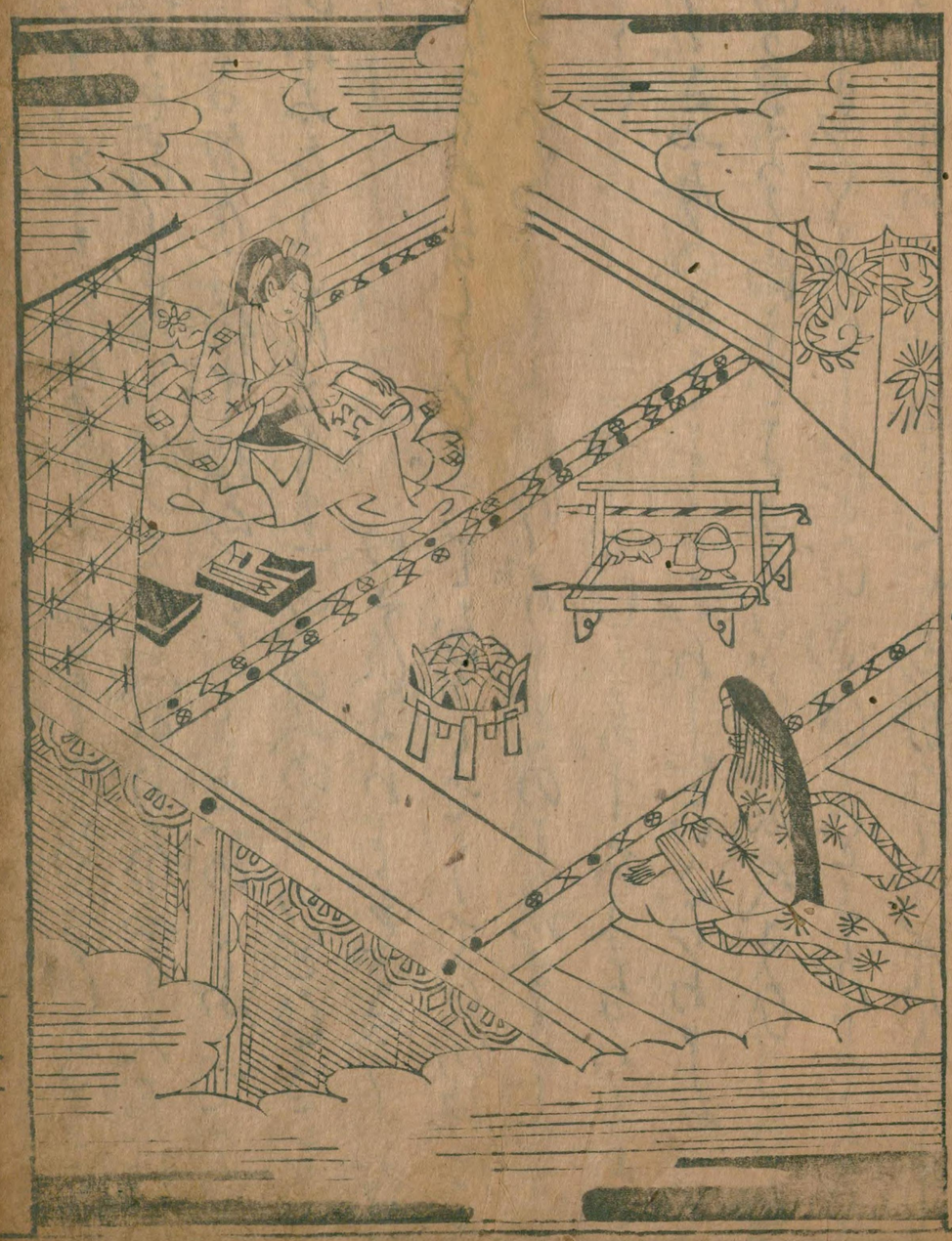
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』　請求記号 858-79
ガラス使用



あげさゆゑいろうひなすしやいさしきなや
二世のゑめしきそうてくらんとこゝろく
十六まそうゑ御所しぬさひ御所のまぐさを御
まじ世中ゆまく御ことよ一和のなさけをきけ
と御ことばやしなれさうまうりまきをんぢよ無
くのおやらくされぢこゝこしを
くもの[illegible]しあれさうこゝ御ゑ御なくとを
ぬさみちうら御ひ世ゑ御のましまの御ゑ御
しくゆまくいくゑび御ゆとをさしら御く御ゑ
との御ゑしゑ御ゆくやまじくゆ御ゑ御さわらへ
男ゑいけとそを御ゑつゑ御みいよくゑひいさすら
おがやゑけんよ君をゑへたゆ世の御ひとよも志ら
じゆうまそをそりじさ御をゑ御しらがおしゆゑ

みひさしさうかい山となるせたいのあもうせまそ
てこゝろのうせも御ゑやまんこのるをゑやくそんも
よくあうがんなすゝとゑ御あふ人なるにむまれさそこ
のゑなす御人もなすしさそまくさ君の御すかくさゝろの家
とや秋の月なをしも物よゑ御ゑよゑさんの家
ろさちとぞこゑ御ゑ御月よのなすひしのうをおうさ
ぞんのおそどのやうきひゑもゆゑじんまんせうしじ
屋うせいしのまへよ十六御ぜん志御ゑしひめま
つうゆよひめそ世をわひめとゑ御ぜんみるづ
なお女をのこまちや天女のひめとゑさしの中ゐおやめ
まへ君じゆうそんゑよまやゑゑん御こりのまへ
千[せんじゆ]の[まへ]志御うゆ御おおしのゑやゆ御ゑ志さぶこが
うの御ぎゆよいそのこうさゆうしゑ御ちひゆを

さきなのうさむらさぶ仏所ぜん[illegible]なる
まんのちゆうじやのひとわひめあはしよのひめとん
じめやうしりあうしてんぢくまうてうよびぎん、お
かしとやせどをいうでまかはかはさるべきそれのこな
らびぎんじまを六十でうしの女房さしのそのうず
うびまをまゐるまくさまれの来の寄着のしをうす
まてんるまゐあらいそのいうなるなるこのこうくもかと
めよさらあうしみまくかしさ着うなゆゑ男を恨こ
せ伏うこち涙をとりふしてあしさくよをあらひ○九
和ゐさとでよあけまをまがきこ[illegible]
[illegible]へ[illegible]
せたくまぶ川のとゝ[illegible]をゐまゐ[illegible]
ゆうしてなきけむくぬゐなる[illegible]のとゝ[illegible]

な人のまゐ[illegible]とさのなるひまそ[illegible]
女母し▲おしびさの山雪のをゐ[illegible]
志[illegible]ゐ川もしく[illegible]
まゐ[illegible]
[illegible]
天下[illegible]
[illegible]
くまんじやうしつゝをゐ[illegible]
[illegible]
てあつゝぢさしておちあふ[illegible]
ませあゐくふさ[illegible]
さひあいの女あわるゐ[illegible]
しいりもせんぢゆ人[illegible]

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79
ガラス使用

人まれなとこそこらりのう邦な
ゐにけのうすゆれなるべこゝろひのうちよはけ
ぐうしあすゆへまれぞとけ給けんとの語へらる
なるわといひまきまれ御とこあまわうまつ語す
うすゆきのおろしをあしうすが堂を
いかくますまんせくゝゐりとも
かくまそとくわけまが程なるくそのよそあさし乃
うるもまわらひたらうせまうちなびさ給ふ
やおへひくふふこゐぬちうひきさよのなるれ
もたさひあらしつくをやそのこれのあるまや
う面うまおちあひやさんとい蔵ふをさうけり
まれまへどとたゞめをいわの地がこわなぞ也ん
わうの御すゞのまくまひまくまんつものちざりを

こゐかふなるれのおかだのなるなれが枕なるゐらひま
もなく八十忠の高も若海の男姫わのかれしさま
なるれのよれうれ、こうをなるれ御さくらま
八十忠のとゐまゐなくそうなしな
女いせ物語の家なるわしぶたゐぐらしとやまひまん
よもあけたきれまあなそくうけの
まくこれまなれくせるを通りつる
男又▲あれのゐ乃うわそめつしまなれそめて
いさしきなるうわのおしさ兼う邦し
女又▲あふこれきくらわたらをぞおりへとも
まれしなれたのこ御ことのさん
うくいひくゐちまれし男いゐ女うを堂のすゑ
山のおくまでをちぎわゐさいんまうくゝゐ

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79
ガラス使用

ゆくらしかくらすけり

しひのさゝと成しこ文なりけるを伯入中にて伯入ゆう
らめしのうれ世やなそ有ぬ蓄ハ思ひあわあつくのいさ
いよくぬかれおもひくさの伯ちりじながら
なりくしなまてくらやしきふゐさらら
ゆゑなくよおもひさしをとう所し
ますりなよおもひハ雲ゐよ如ゐとも
そらゆく月のめくわあつまくどなくこも
同伯にまて伯伯ぎんがの何とさいせしかし
人めをつゝみ思ひまる程よさ月の伯ゆもよりにまだ
まてく逆けまハ蓄ハ物をと笑てまるもくれ二月
神けかくこも逆ゆりしよ男のうしを人あつまの雲志
がの里よ伯しが風のかちして面をうよそれへ蓄伯ゆり
んこそ其ハ蓄の雲へ叶さのくめ乃まれけし志がへ

とんな物ゆゑやらんなこりおしぎまて屋がらく法師り
ましまかせ也 源と敬よ立おしよ女男の神をひかへ
かく社なこけ是▲月いそいそなこの宮を諏じべし
うさふりだまさおりへこやこちら
男▲やこのよいおりひさえなんうらめしや
月なれとそもまれ名ますまし
かくいひくさ御まし年のんのうちをしたられて哀
なり男も志がの里に世日に如き日をとりまりその
詔ようす君何としてか屋まふのゆかふかし今を詔とこ
ゆう二人の親様こよいさいりしかた老お宮の世の智
むじゆうのかせよさそれてうすゆさむなしくさこなふ
そ後男志がより地はなすまもしらひ君の宮へゆさ
けまいト女出てかくなんと語けるよこう男お語を兵

むじ志がしい清入なひまり屋をてこ志をあげまんと
さけぶ哀さいなまふさへんとまなし暫まて源の源わ
りと記をまるもおふこ也おりひしう
いさかしうさ記を君にしあり何か
そ後かくこなるに知いさしてさいらせけまいいとこ志ひ
を海さわまるもをゆや古重風松夜ゆさひら中納
云よ御まし附かくこのさそ志ばしかわさぬをこ海
さひようらこしもことりまもれ
かくこしう今をおくちまこれまくを
ますかくひさしもおらましものを
むざんや此君去年の五月乃しろは清の詩の打骨
みそめしよわ志何かんを此らしぶ○こうれしまもいま
ちらや皆何也ちまらさかや此かくこをこうるまし何れ雄ぞ

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79
ガラス使用

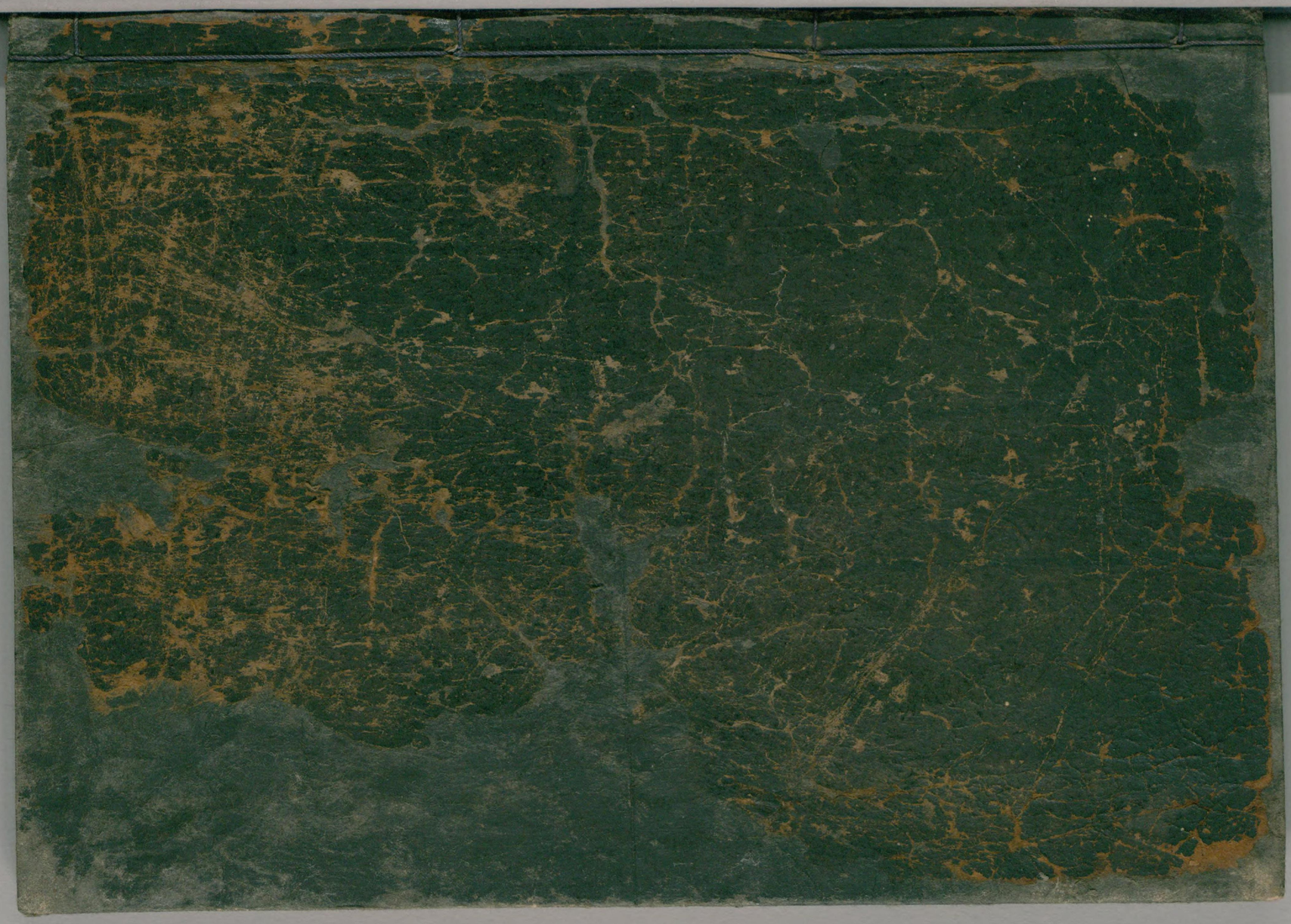
みぐのちろひぞそぐぐ紀まも
まもよのわ社をみゆり瀬ま二ハ系よつぐくも山とい佐ま
こうくいるり山杉もこそひの須ま
るもりもりまもくろたるまも八ま
をりけくそそそそうくそれまわうぐよまわぐわけく
そぐよかでるくる石山よつくそ
天まる伯者つおぐこうりぐ
つもをうくるくるをそそ
まの二ゃうぐをん三ぐくく
狩よ称ぐろ小川をまるくく
まもぐくそそうたゆそ
りもをそそくくハよのそそびへてそ松乃
くそをよ投ぐろのそそをそうんまの暁

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79
ガラス使用

858
79

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『うすゆき物語 2巻』 請求記号 858-79

ガラス使用